

# 2019年1月25日 第3275回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 北村 会長  
<斉 唱> 「それこそロータリー」  
<ゲスト紹介> \*防衛大学校教授 理学博士 小林 文明 様  
<ビジター紹介> \*RI第2590地区パストガバナー 岡本 徳 彌 様(川崎北RC)  
<会長報告> \*例会の出席について、現状72%を80%の目標達成に向け積極的な協力要請がありました  
\*ガバナー事務所より  
・インターアクト一泊研修会ご参加のお願いについて  
期日：3月23日(土)～24日(日)  
会場・宿泊先：三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ヒルサイド  
(旧 YMCA三浦ふれあいの村 やまびこ棟)  
○登録開始 10:30ヒルサイド施設内 集会室  
○開会式 11:00予定  
○閉会式 14:00予定 ○解散 15:00予定  
○持ち物 上履き(室内スニーカー) 雨具、防寒着  
積極的な参加要請がありました  
・次年度クラブ指導者に向けた『公共イメージ・米山奨学セミナー』開催のご案内について  
3月6日(水) 14:30～17:20 (受付14:00～)  
懇親会 17:30～19:00  
於：藤沢商工会館ミナパーク 6F「多目的ホール」  
講演：米山奨学会名誉理事長 小沢一彦氏  
・米山奨学金終了学生修了式/歓送会開催のご案内について  
2月17日(日) 15:00～16:00 修了式  
16:00～18:00 歓送会 於：第一相澤ビル8F  
当RCからはキム ウンギョンさんが該当  
<委員長報告> \*社会奉仕委員会 物井委員長より10,000名プロムナード クリーン作戦について  
3月10日(日) 実施予定  
<幹事報告> \*例会終了後 第7回理事役員会開催(例会場)  
\*例会終了後 IM実行委員会開催(例会場)

<出席報告> \*出席委員会 福西委員長より1月25日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
122名	106名	67名	39名	1名	64.15%

<ニコニコ報告>

- ・国際ロータリー第2590地区パストガバナー 岡本 徳 彌 様(川崎北RC)  
久し振りにメーキャップさせていただきます。
- ・三 役 防衛大学校教授 理学博士 小林文明様、本日は卓話誠にありがとうございます。  
卓話楽しみにしております。
- ・角 井、杵 渕、高橋 勲、高橋 倫、福 西、植 田、藤 村、  
久保田、齋藤 眞、田 邊、山 寄、澤 田、勝 間、大 竹、長 尾、  
鈴木 健、瀬 戸、勝 見、猿 丸、前 川、原 田、長 坂、加藤 博 各会員  
防衛大学校教授小林文明様、本日はようこそお越しくださいました。卓話楽しみにして

おります。

- ・徳永、八巻、丸山、長尾、田邊、山寄、飯塚、波島、前川、野坂、勝間、根岸、新倉、平松、高橋 各会員  
国際ロータリー第2590地区パストがバナー 川崎北RC岡本徳彌様、ようこそお越し下さいました。ごゆっくりお過ごしください。
- ・鈴木 会員 岡本PGようこそ！お元気そうで何よりです。
- ・八巻ローターアクト委員長 福西会員、1月22日のローターアクト清掃例会にご出席いただきありがとうございました。
- ・山寄 会員 野坂会員に実物以上の写真をいただきました。
- ・鷺尾、小平、松本、上林、久保田、齋藤、松本、菅野、木村 各会員  
大坂なおみ選手全豪 Open 決勝進出おめでとう！応援します。
- ・梁井、山下 両会員 諦めるな 錦織！

## <卓 話> 「極端気象から身を守る」

防衛大学校教授 小林 文明 様

### 【講師紹介】

1961年11月3日生まれ。

北海道大学大学院理学研究科 地球物理学専攻博士後期課程修了

1991年 防衛大学校 地球科学科、海洋科学科教授

気象災害が発生時には、NHKを含め各メディアに出演。

「積乱雲」「ダウンバースト」「竜巻」に関する研究著書を執筆（いずれも成山堂書店より発行）

皆様、こんにちは。防大の小林でございます。私はどこに行っても、聞きなれない言葉ですが、この「極端気象」という題目で話をさせて頂いております。よく使われる「異常気象」という言葉でございますけれども、いろいろな定義がありまして気象庁で言うと30年平均からずれているものであり、最近では改めて説明するまでもありません。





去年は6月に大阪の直下の地震が起こって、その後西日本豪雨が起って、そのあと忘れもしない猛暑が続いて、そのあと台風21号が上陸してあちこちで猛威を振るい、その2日後に北海道地震が起りました。これだけの自然災害が起こる中で、特に気象では1時間に100ミリを超えるような雨とか竜巻とか40度を超える猛暑とか、とても普通ではない現象が起こる「extreme weather」という言葉を訳して、「極端気象」と我々が呼ぶようになりました。最近ではこれがようやく浸透してきて極端な現象で、我々はどうす

るのかということを考えなくてはいけないという時代に突入してきました。その原因はいろいろあるわけですが、一つは温暖化です。何故温暖化になったかと言うと、ヒートアイランドとか我々が気候を変えてしまったということも当然あるわけです。

私は個人的にお天気のこと、特に「積乱雲」、「積乱雲」と言えば「雨・風・雷」について研究をしております、その観点から話をさせていただきたいと思っています。いわゆる「雨・風・雷」でも最近では、まさに「ゲリラ豪雨」、「竜巻」などアメリカで起る現象だと思っていたら、日本でも既に起っている。それと「雷」です。こういうシビアな現象、「極端気象」が日本でも起きているわけです、どうにかしなければいけない。今日は時間も限られているので、メカニズムなどの難しい話を除き、私は何をやっていて、どういうことを目指しているか、或いはもしかすると皆さんと関係するようなこともあるのではないかとこの先どう言うことが分かるのかという話をさせていただこうと思っています。最近、ようやく「小林と言えば竜巻」と皆さんに言って頂けるようになって、まずは「竜巻」の話をして頂こうと思っています。ご記憶にあるでしょうか、今から10年以上前になりました2005年クリスマスに山形県でJR羽越本線の事故がありました。この年は4月にJR西日本福知山線の事故通勤電車がカーブを曲がり切れずに、マンションに突っ込んで100人以上の方が亡くなったという事故があって、当時のマスコミは「またJRが事故を…」という風潮だったのです。竜巻の「た」の字も誰も想像しなかったという状態でした。当然事故ですから非常線が張られる。或いは国の調査委員会が動くので、誰も近づけないという状況であって、クリスマスが終わった後、元旦に現地に行って調べたという気憶があります。その後、2006年9月17日に場所は違うのですが、また台風が近づいてきて、宮城県延岡市ですけど、そこで竜巻が来て、この時は昼間でしたので竜巻が来るのが分かって、急ブレーキをかけて転覆したのですが死者が出なかった。それが9月で、その後2か月も経たないうちに、北海道の佐呂間町で「竜巻」によって9人の方が亡くなるという大惨事が起きているわけですね。たまたまなのか、どうか分からないですけども、社会的にも非常にインパクトのある事が起こったので、ようやく我々も一生懸命国に対して申し入れて、これがきっかけで今、皆さんが天気予報で目にするようになった「竜巻注意情報」を気象庁が出すようになった訳です。ところが、起きた場所が、山形、宮崎、北海道ということで、しかも鉄道とか仮設構造物ということで、あまり皆さん実感がわかなかった。しかし、2012年のGWの最後の日です。我々が住んでいる関東の北関東で立て続けにアメリカの巨大なトルネードに匹敵するようなものが3本発生して、甚大な被害をもたらされた。天気予報で「落雷突風に気を付けましょう。」「頑丈な家に入りましょう。」と言われますが、自然災害というのは千年に1回の「地震」とか数十年に1回の「竜巻」に、宝くじに当たるような確率で遭遇するかしらないかではなく、やはり明日は我が身。誰かがこういうことに遭遇する確率があるのだということを学んだわけです。写真で恐縮ですが戸建て住宅のコンクリートがめくれあがって、建物の上に見えるのが床ですよ。まさにアメリカのトルネードと一緒に、逃げるため、身を守るためには穴掘って地下に逃げるしかないということが、日本でも再認識された訳です。

ちなみに横須賀でも起きているのです。2002年10月7日に県立横須賀高校から三春町まで通りました。このように、地元で起こった現象も、身近な人が被害にあったことが無い限り、皆さん忘却の彼方になってしまうことが、自然災害の特徴です。最近では、ようやく日本でもこういう「竜巻」が来たらどうすればいいかという啓発活動が行われています。例えば、家にいればバスタブに毛布をかぶって子供を抱えていけば、何とか地下シェルターが無くてもやっつけられるだろうと理解されている。また、気象現象には前兆があり、五感で冷たい風を感じるとか草むらや土の匂いがするとかを学べば、最終的に自分の身は自分で守れるのではないかということを研究しています。日本で考える時には、「地震」も「風」も「竜巻」も「台風」も、「津波」も全てのことが起こりえる国なので、非常に難しい問題なのです。

最後に「ゲリラ豪雨」となりますが、今から20年前の1999年7月21日、今だに語り草と言うかチャンピオンデータと言われる、いわゆる「練馬豪雨」が発生しました。晴れた夏の日、突然雨が降ってきて、しかも131ミリという豪雨でした。朝から快晴でしたが、午後2時くらいから積乱雲が湧き出てきて3時から東京練馬で積乱雲が湧いてあつという間に広がってきて、50数キロ離れている横須賀にも経った2~30分で覆いかぶさってきたという状態になりました。都心で何故か知らないけれども、突然晴れているいい天気なのに、ものすごいスーパーセルが発生することが起きる。この現象の難しいところは北関東で起こったものが通過してくるので、もちろん気象庁でも予測できないのです。「都市の温暖化」、「ヒートアイランド」、我々が作り上げたものが原因と考えられています。首都圏では複数の研究レーダーをネットワーク化することによって雨風の情報を共有することが可能になっています。さらに高度化されたマルチパラメーターレーダーで雨量を正確に観測できるようになりました。地上の気象観測でもアメダス(約20km間隔)よりもはるかに密な観測網が構築されつつあります。簡易気象センサーを設置した地上観測網を、横須賀にはまだ1台も設置されていないので、ぜひ普及していきたいと思っております。

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 中村 勝則

## 【 2月例会予定 】

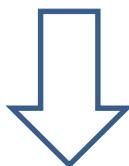
2月 8日(金) 第2回クラブ協議会(中間報告)

15日(金) 卓話 海上自衛隊横須賀地方総監 渡邊 剛次郎 海将

22日(金) 夜間例会/ロータリー創立記念日(ロータリーデ

ー)

18:30点鐘 於: ヤンガーザンイエスタディ



2月10日(日)中に、ご出欠のご返事をお願いいたします

